REALTUBE

取扱説明書
OPJ-600および1200シリーズ

この度はお買い上げ頂き、誠に有難う御座います。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読み下さい。

■照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられております。
工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡し下さい。

安全に関するご注意

⚠ 警告

●施工は、取付方法に従い確実に行って下さい。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数以外の電源で使用しないで下さい。
感電・火災の原因となります。
●アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実に行って下さい。アースが不完全な場合には、感電の原因になります。
●ランプを分解・改造したり、部品を変更して使用することは絶対におやめ下さい。落下、感電、火災の原因となります。
●ランプが破損した状態で使用しないで下さい。落下、感電、火災の原因となります。
●電源線接続は確実に行って下さい。 発熱・火災の原因となります。

⚠ 注意

●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないで下さい。 落下・感電・火災の原因となります。
●周囲温度は、－20～45℃以外では、使用しないで下さい。 指定外の周囲温度で使用すると短寿命の原因となります。
●**蛍光灯からREALTUBEに付け替える際、ブレーカーの交換が必要な場合が御座います。予めご了承下さい。**

⚠ お手入れ時の注意

●LED TUBEの清掃は、水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取って下さい。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないで下さい。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

⚠ **器具の取り外しは工事店・電器店に依頼して下さい。**⇒感電の原因になります。

REALTUBE

取扱説明書
OPJ-600および1200シリーズ

接続における注意点

〇本製品は専用のAC/DCコンバータをご使用下さい。
〇本製品は屋内専用となります。屋外での使用はおやめ下さい。
〇必ず既設の安定器（またはインバータ）のケーブルを切断し、端末処理を施して下さい。
　万一、切断しないでランプを装着すると、ランプが壊れる恐れがあります。
〇接続の際は、以下の図を参考にお取り付け下さい。

既存器具への取り付け手順

器具に通電がされていないことを確認した上で2次側線を切断。

切断した線をそれぞれ端末処理し、電気が流れないようにビニールテープで巻く。

もう片方の2次側線も同様に切断。

安定器側の線だけをビニールテープで端末処理し、ソケット側の線はフリーの状態にしておく。

REALTUBE専用電源をビス等で固定し、1次側・2次側両線を結線できる状態にしておく。

ソケット側の線を専用電源の2次側線（赤青線もしくは赤黒線）をしっかりつなぎ合わせ端子（スリーブ等）で圧接する。

端子と線をビニールテープできっちり巻き付け、外れないように施す。

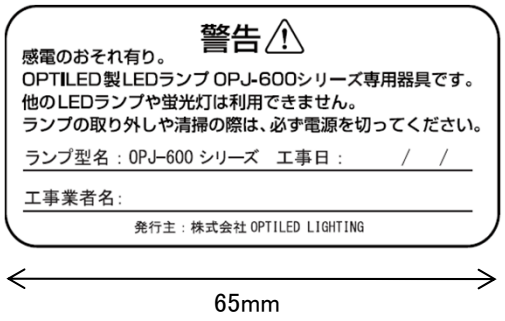
最後に専用電源1次側線（白黒線）を電源端子台へ差し込み、通電の確認を行う。

REALTUBE

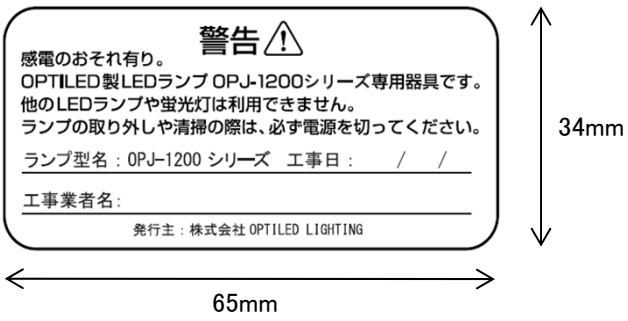
取扱説明書
OPJ-600および1200シリーズ

LED器具表示シール

OPJ-600シリーズ



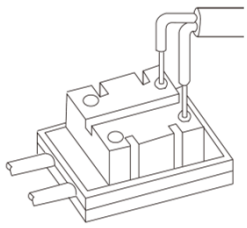
OPJ-1200シリーズ



前頁『既存器具への取付』の④へ取り付けるLED器具表示シールです。
施工の際には必ず上記シールを貼り付けて下さい。

REALTUBE専用器具の取付について

電源線を電源端子台に差し込む



①器具質量に十分耐えれるよう、取り付け面の強度を確保して下さい。不備があると器具落下の原因となります。

②器具本体を確実に取り付けます。その際、器具内線を座金やナットで挟み込んでいないかを確認して下さい。

③電源線を器具電源端子台へと差し込んで下さい。接続が不完全な場合、発熱・火災・感電の恐れがあります。

④最後に反射板を取り付け、REALTUBEをセットし完了です。

※詳細については器具同梱の取り扱い説明書をご覧下さい。

【商品に関するお問い合わせ窓口】

お問い合わせの際は器具銘盤、または器具形式でご確認の上、ご連絡下さい。
※電話番号等、変更になる場合も御座います。ホームページでご確認の上、お問い合わせ下さい。

OPTILED
株式会社オプティレッドライティング
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目1番6号 ヤマトビル2階
☎:03-5812-3566 FAX:03-5812-3588
ホームページ:http://www.optiled.co.jp